

No.40

H23年
6月

女性専科



契約・臨時社員

連絡会



六十歳問題は、本社から支社の方へ指導するということになつたようです。しかし安心してはいられませんよ。この問題については各地本の幹事たちと、並みの率で、契約社員には年齢制限がないことを再度確認。一部支社での六十歳退職について廃止を申し入れ。契約回数三回以降、契約回数×十万円

一、十五回表彰の実施

一、契約社員の正社員への登用制度を

どの項目も、いま私たちに必要だと思われることを考慮して、要求決定しています。

とくに、六十歳問題については、前回の「るーじゅ」で書いたように緊急の問題として捉えています。

貨物労組の本部でも、しつかり交渉していく事を約束してくれました。

年齢制限が無いはずなのに、本人も働きたいと願つてゐるのに、会社から一方的に契約停止なんて・・・今まで何人もの方が涙を飲んできたことか。働くことが生きることである人たちから、生きる術を取り上げないでほしいと切に願います。

「契約・臨時社員に対する表彰の新設」
として、今回の目玉は：
「契約・臨時社員に対する表彰の新設」
だつて、永年皆さんが会社で頑張つてきたり、十五年つて結構長いでしょ。十五年つて結構長いでしょ。特に、私たち非正規社員にとつてはね。いや、嬉しいですわ。
た事を会社が認めてくれたつて事でしょう。十五年つて結構長いでしょ。十五年つて結構長いでしょ。特に、私たち非正規社員にとつてはね。いや、嬉しいですわ。
お知らせいたしますね。

(二) 表彰の期日及び表彰の制限
新設 契約社員及び臨時社員に対する表彰の基準
(一) 表彰の基準
当該年の十月十四日までに、勤続年数が満十五年(契約社員の場合は、臨時社員の勤続年数を通算する)に達していける場合、以下により表彰を行う。

いいねえ、特に四番目。もうすでに十五年以上働いてきた人たちも表彰してくれるつてとこ。ココントコだつて、連絡会がこだわつて要求してきたところだから、嬉しいなつちやう。

あつ、そよう、この書面についてはまだ各現場や、所によつては各支社もまだ來ていらないところあると思うよ。また、担当者も詳細を知らない場合もあり。

だけど大丈夫よ、十月を楽しみに待つていてね。



るーじゅも記念すべき40号です。H11年3月から何と12年。この中には、みんなの喜び、怒り、悲しみいっぱいつまっているね。また新たな気持ちでスタート!!

幹事會

て一年交代で幹事を選出する事が決まったので、今回幹事二人が出席してくれました。東北といえば、東日本大震災です。多くの方が亡くなり、まだ行方不明者の方たちもいる現状に心が痛みます。幹事会の始めは、まず黙祷ではじめました。

そのあと、大震災が起きてからの東日本の現状と貨物労組としての支援活動の様子を、本部が一本のDVDにまとめたのを視聴。

あの日から何回もテレビなどでじょうな場面は見ていますが、我が社の被害を中心に撮っているせいか、見慣れたコンテナの散乱する姿にグッと来るものがあります。

そして、高木書記長から挨拶と会社の状況・大震災の義援金のお礼（参加率九十五%ですって…）をして、今後についての話などを聞いていただきました。

その後は、各地本で開催された連絡会の会合についての報告。ここで、今年度の「雇用契約書」についての議題があがりました。みなさんは気が付きました？
契約書の項目欄に「更新の有無」つていう欄が出来たことに。知らなかつたみなさん、再度お手持ちの契約書を見てください。「これね、結構気にした人が多かつたようです。

本部からは本社より「労働基準監督署から、この項目を入れるよう指示があつたので入れました」と連絡があつたと説明ありました。心配することはないとのことです。
しかし、幹事たちに確認したところ九州以外では支社から説明がなかつたようです。そりや、心配しますよね。まるで、いつでも退職させることが出来るぞお」と脅されていると取つた人もいましたし。
説明だけはしっかりとしていただきたいと、各地本から申し込んでもらいましょうね。

他には問題として、「春闘の結果について」「六十歳問題について」「生休問題について(三ページ参考)」「人間ドックについて」「退職金について」「制服ズボンについて」などが上がりそれぞれ話し合いをしました。(各地本の会合は、るーじゅでも載せてきたから詳細は省きますね。)
最後は、JR貨物労組の全国定期大会の代議員と発言内容をまとめて閉会となりました。

関東地方より
「第四回意見交換会」

関東地本では、二月十六日契約・臨連絡会として支社との意見交換会を開催しました。

まず、意見交換会の二時間ほど前に関東地本の契・臨連絡会のみんなが集合。ここで、あらかじめ出す予定の質問を再度検討。質問は事前に支社にも提出し一応の返答は頂いていますので、これを元にさらに練り直すつて感じかな。

四回目つてことで、どの方も意欲的なのが印象的でした。

退職金の金額にしても、前回の時に連絡会が提唱している「勤続年数×十万円」に対し、一年・二年で退職したときに正社員と比べると、契約社員の方が高くなると反論されたのに対し、今回は正社員の三年目の方が退職したときの金額をちゃんと計算してきた方がいらっしゃつしゃつて、ビックリ。

いやうやるなあつて思っちゃいますよね。

ここで、すべてが解決するわけではありませんが、自分達で自分達の問題を考え、自分の言葉で訴えていくということは、参加者みんなに大きな力と自信を与えていたるような気がしました。

今まで参加したことないって方、どうですか、参加してみない?

横のつながりもできて、意外と楽しいですよ。

次回にも期待しています。

社員のことに含めて、正社員にもかかわりのある人間ドックの申し込み方についての問題点もあげられました。だつて、健保担当は契約・臨時社員がしている事が多いのですもん、仕事はスムーズにしたいよね。

そして、支社の人事担当者を招いての意見交換会開始。双方、ちょっと緊張気味かな?

でも驚くほど堂々とみなさん自分の意見を発言されました。

お見事です、カッコイイなあ。

関東地本は、六十歳問題について早急に解決が望まれているところ。自然皆さんの話も熱が入ります。それも、きちんと数字を出して訴えていく人、情に訴えるように落ちついで話をすること。様々。

おかげで、今まで冷たい反応しかしていなかつた支社の方たちも、ちょっぴり暖かい反応だったようですが

☆生休つて取つていませんか？

なぜ取りづらいのかなあ☆

北海道地本で行われた会議で質問が出ました。

「あのお、みなさん生休を取つてい

ますか？」

ああ！我が連絡会の永遠のテーマ

の一つでもありますね。

その場で、参加者の皆さんにお聞き

したところ、取つてている方・取つて

いない方、様々でした。ううん、取

りづらいのは…なぜだろう？

「方法を考えますね！」とカンタン

に約束して帰つたものの…

どうしましょう？

生理休暇取得率を会社に出しても

らつても意味ないじやん！

実態をどう捉えていけばいいのかな

あ。と、迷いながら日々。

何回も言いますが、同じ女性さえ

も考え方が違つてくる「生休」とい

う問題。必要な人と必要でない人と

の考え方の差は、必然取りやすさと

取りづらさにつながつてきています

よね。

でもさあ、女性労働者の先輩たち

が苦しみながら勝ち取つたであろう

権利ですよ。若輩者の私達は有難く

使わせていただきながら、先輩に対し

ての礼儀だよね。

そして、生理で仕事に就けないほ

ど苦しんでいる（薬で抑えている方

たちも含めて）女性たちの立場で考

えていくという事は、常に弱者の視

線で考え行動していくこと。労働組合にとつては当たり前のこと。

今以上に行動を起こすときが来た

のかも。

そんな想いも込めて、幹事会でも

取り上げました。

さて、生休について聞いていくと何

処でも、生休について聞いていくと何

「生休が取れない」→「申し込み

にくい」→「申し込みが恥ずかしい」

という声が一番多いのです。

もちろん事は簡単ですよ。

「生休でお休みをください」と言

えば一発OK

しかしねえ、乙女心を失わない私

たちには勇気のいる一言なの。

「生休つて言いたくない」って皆さ

ん言います。

生休はダメ？では何て言えばいい

の？

この問題、北海道や幹事会で議論

してみたところ、アイデアが出てき

ました。

(その①)

「生理休暇」という言葉を「静養

休暇」と改名する。

JR北海道やJR東日本では實際

に使われているようです。

就業規則を改正する必要はあるけ

ど、おおつ、いいアイデアと思いま

した。でもデメリットも。

「静養」という言葉が浸透すると

生理のためだけではなく普通の休みと

誤解してしまいそう。女性だけの特

別な休みとして。男性陣から「する

い！」つて言われそなんですが：

(その②)

勤務管理システムでは、コードNo.

46が「生理休暇(有給)日勤2種」

を示します。ある現場では「生休」

の隠語として「46」って呼んでい

るとか：おもしろい！

しかし、かなりの時間がかかりそ

うな気も…。

これを全国展開すればいいじやん！

(その③)

自分の職場の上司や同僚に直接

「生休」と言えないなら、支社に女性の担当者を置いて、支社に生休を

電話で申し込むようにして、職場に

は担当者が連絡してくれるようす

れはいいのでは…？

そうだね、男性よりも女性なら少

しは言いやすいかも…。

でもさあ、出勤時間が現場と支社

では違うでしょ、出勤時間すぎてか

らじやあ、マズイよね。

結局、いい答えは出ませんでした。

(涙) 難しいよお

しゃあないやん、こうなつたら、

困ったときのアンケートだわ。(また

けど)

今回、しっかりと生休の実態を把握

するためと皆さんからのアイデアを

募るために、アンケートを行います。

自分の職場の取得方法などは、特に

いい参考例となりますのでよろしく

協力よろしくお願ひいたします

【臨時社員の生休】

臨時社員の生休は、今まで無給の

の休暇のみ認められていました。

(日数制限無し)

になりますね。労基法では、生休

は与えなければなりませんが、有

給であるか、無給であるかは会社

が決めることとなっています。

無給じゃあね。年休の方が有給

なのでいい、と思っている臨時社

員の方もいるかも。

しかし、今年配布された「臨時

社員就業規則」を見て、びっくり。

ありあ、いつの間にか臨時社員も

有給の生理休暇が認められていますよ。

でもさあ、出勤時間が現場と支社

では違うでしょ、出勤時間すぎてか

らじやあ、マズイよね。

結局、いい答えは出ませんでした。

(涙) 難しいよお

しゃあないやん、こうなつたら、

困ったときのアンケートだわ。(また

けど)

今回、しっかりと生休の実態を把握

するためと皆さんからのアイデアを

募るために、アンケートを行います。

自分の職場の取得方法などは、特に

いい参考例となりますのでよろしく

協力よろしくお願ひいたします

北海道地本より

女性だけでじゅりと

三月五日北海道地本で行われた契約・臨時社員の会合について報告します。(紙面の都合上、最終ページに来てしまって北海道の方には申し訳ありませんが……)

北海道幹事の二人も心配していましたが、北海道の女性陣はいつもおとなしいイメージ。せっかくみんなが集まってくれるのに、もっと楽しむみたいというのが、幹事の願いでした。(どこの幹事も、楽しい会合が目標なんですよ。)

そこで今回は、北海道地本の桑沢委員長にお願いしました。そうです、女性だけで会議をしたいです、と。全部が全部とはいきませんが、会議初めに委員長の挨拶だけしていただき、その後男性陣はみんな退席。

最初のころはちょっと緊張していましたが、本来連絡会の会議は「戸端会議が目標」(近藤代表の口癖)。そこでもやはり雇用問題は最大の関心事。特に二十三年度に事務センターが支社にできるとあって、さらに心配していました。ただ、支社

煙草の煙は「毒」です。自分がお好きで「毒」を吸うのは勝手ですが、妊娠中の女性は体内に大事な命を宿しています。もう少し、配慮してください。もしかして、家庭の中でもうしているのかな?皆さんに、幹事一同とっても嬉しいです。ありがとうございました。

分煙化については、全国の会議でも出ていますが、なんか更に分煙化意識低下していませんか?ここでは、妊娠中の女性がいるのに平気で横で煙草を吸うなど、ビルのマナーの悪さが出ていましたよ。

また生休問題も出てきました。これは男性陣の前では出なかった問題かもね。この問題は幹事会でも取り上げていくことに。(前ページ見てね)さらに、退職者と新規採用者との引継ぎ問題について。前任者とすれば違いで引継ぎ無しで困ったという方が何人かいました。ピッククリです。せめて一ヶ月ほど欲しいというのが、私達の甘えなのかな。だつて、この会社について知識「〇」の所から出発なんだもん、もう少し考えて欲しいですね。



【編集コーキ】

今年の三月、春闘の真っ最中でした。今年も様々な要求を掲げた連絡会。もしも春闘で一つでも通つたら、すぐにでも「るーじゅ」と知られるぞつて意気込んでいた頃。

テレビから飛び込んできた『大震災』の映像。きっと全国の方も、何度も目にした大震災の現実に、シヨツクを受けたのではないでしょか。自然の力の怖さと、人間の力の小さな。何十年も何百年も築いてきたものが、たつた一瞬で「無」となる空しさ。

そして「生きている」事や、普通の生活がどれだけありがたい事か、これほど実感させられたことはありません。

しかし、そんな感想も被害地から離れた場所にいるからこそ、言えること。被害にあわれた方たちの気持ちを考えると、何も言葉が出なくなります。

大震災後、春闘が決着し、そこには、連絡会として嬉しい報告もありました。すぐに、「るーじゅ」

申し訳ないです。

私たち一生懸命訴えてきたことで本当に嬉しいのですが、紙面で素直に喜んでいいのかなあ。…と、ぐだぐだと悩んでいたら、まあ三ヶ月となりました。

ごめんなさい。

連絡会が、止まつたままの状態で、ダメですよね。一步でも前進することは大切ですね。されど前で悩んだまま、結局どんな言葉がいいか、答えを出すことは出来ませんでした。…それで「るーじゅ」はいつもの「るーじゅ」で作ることにしました!



今回幹事会、東北の幹事が参加していただいたことで、彼女たちから東北の様子をお聞きすることも出来ました。その時の言葉、「東京に出てきて、普普通の日常生活が流れている事に驚きました。」ああ、まだ東北は日常が戻つて来ていないので、とズンツと胸にきましたね。

日本が復興するためには、暗くなつちやだめだ、消費も活発にしないこう!などと呼びかけられていますが、それは被害地域以外にいるからこそ出てくる言葉。

暗くなる必要はありませんが、気を引き締めて、自分達の出来る事をしていきたいと思います。さて、皆さんの職場ではどうでしょうか?皆さん